

第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

特別企画2のご案内

包括的に見えてしまう、多職種が連携してしまう、今、話題の『見える事例検討会』

会員のみなさま

第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 in 岡山も開催まで3か月となりました。

案内が遅くなりましたが、今大会の特別企画として予定されている『多職種による見える事例検討会』への参加者を募集します。

* 見える事例検討会の全国での活動の様子はこちらをご覧ください：
<https://www.facebook.com/mierujirei>

厚生労働省の認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）に代表されるように、認知症に対する取り組みが国をあげて推進されています。しかし、現場で認知症高齢者に関わるスタッフ同士の連携についてはいまだそれぞれの現場で試行錯誤されている段階です。この企画は、それに対する一つの答えとして、最近話題になっている『見える事例検討会』を紹介するために開催します。

「生活」「医療」「介護」「経済」「家族」「地域」など多領域の課題の関係性を包括的にとらえられ、参加者の一体感が生まれる事例検討。

マインドマップを応用した「見え検マップ」を使って、独自のファシリテーション手法で多職種の「知」を結集し、今、まさに動いている事例を解決に導きます。

【募集人数】120人（職種は問いません。いろいろな職種の参加をお待ちしております。）
